

和歌山県災害時多言語支援センターについて  
～災害時の外国人支援～  
(市町村向け手引き)

和歌山県企画部企画政策局国際課  
公益財団法人和歌山県国際交流協会

令和5年2月

# 目次

1. はじめに	P1
2. 和歌山県災害時多言語支援センターとは	P2
1 設置目的	
2 設置と閉鎖	
(1) 設置	
(2) 設置場所	
(3) 開設時間	
(4) 閉鎖	
3 活動内容	
(1) 災害関連情報の収集、整理、多言語による情報発信	
(2) 在住外国人からの多言語による相談対応、ニーズ把握	
(3) 行政資料の翻訳支援等	
3. 市町村において平時から取り組んでいただきたいこと	P4
1 地域に在住する外国人に関する情報の把握	
2 避難所における外国人被災者の受け入れ態勢の整備	
3 市町村からの発信が想定される情報の事前翻訳	
4 外国人に対する災害時多言語支援センターの周知と防災啓発	
5 災害時多言語支援センター設置運営訓練への参加	
4. 避難所に外国人被災者が来た時の接し方	P5
1 避難所での外国人被災者対応のモデル	
2 避難所に外国人被災者が来た時の接し方	
5. 災害時における外国人支援に使用できるツール	P8
1 一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR) による災害時多言語情報ツール	
2 在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン	
3 リーディング・チュウ太	
4 多言語音声翻訳アプリ「ボイストラ」	
5 外国人向け「防災ガイド」	
6 Safety tips	
7 和歌山県外国人サポートメール	
6. おわりに	P13

# 1. はじめに

今後 20 年以内に 60%程度の確率で、南海トラフ地震が発生するとされている等、災害対策の必要性が高まっている中、和歌山県内における在住外国人数は、令和4年6月末現在においては 7,619 人となり、過去最多を記録しました。また、県内に宿泊する外国人宿泊客数も、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大が起こる前の令和元年は過去最高を記録する等、様々な場面において外国人に接する機会は増えています。

災害時において、和歌山県地域防災計画では、外国人を要配慮者と位置付けています。被災した外国人(特に観光目的で和歌山に滞在する外国人や、技能実習生等)が、日本語能力等の問題から災害情報の入手が困難となる、地域との関係性が弱く人的サポートが得にくい、出身国の地理的特性から地震等の災害経験が少なく、災害への正しい対処方法が分からず精神的な不安を抱える等の問題が懸念されます。

そこで、和歌山県は、大規模災害の発生時には、公益財団法人和歌山県国際交流協会と協働して「和歌山県災害時多言語支援センター」を設置し、外国人にとって必要な情報を多言語により提供し、外国人に寄り添い、総合的、広域的な支援を行うこととしています。外国語による相談対応や、緊急性のある行政資料の翻訳支援等の外国人支援を行うことができますので、各市町村においては、災害時多言語支援センターとの連携により、外国人被災者の支援が円滑に行われるよう取り組みをお願いします。

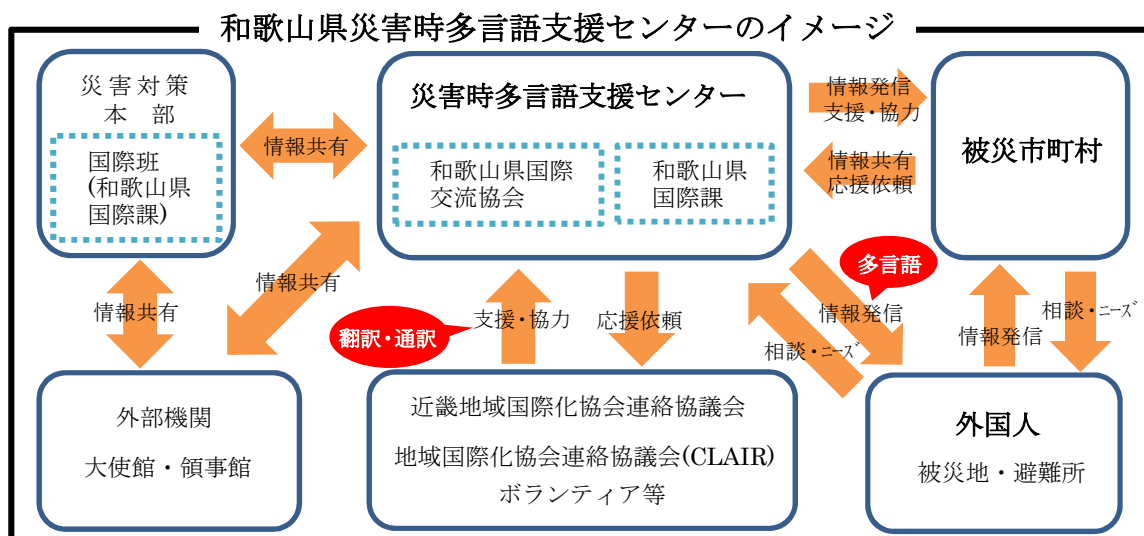
(参考)

1 「和歌山県災害時多言語支援センター」は、和歌山県地域防災計画(外国人支援計画)に基づき、開設します。

2 和歌山県(防災企画課)の市町村避難所運営マニュアル作成モデル(大規模避難所版)においても、避難所内の外国人への対応として災害時多言語支援センターを紹介しています。

([https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/bousai/hinaniomodel\\_d/fil/hinaniomodeldaikibo.pdf](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/bousai/hinaniomodel_d/fil/hinaniomodeldaikibo.pdf))

([https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/bousai/hinaniomodel\\_d/fil/hinaniomodeldaikiboshiryo.pdf](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/bousai/hinaniomodel_d/fil/hinaniomodeldaikiboshiryo.pdf))



## 2. 和歌山県災害時多言語支援センターとは

### 1 設置目的

和歌山県災害時多言語支援センター(以下、「災害時多言語支援センター」という。)は、大規模災害発生時に、言葉や習慣の違いから情報入手が困難になり支援を受けられない恐れがある、又は災害経験が少ないことから精神的な不安を抱えている県内在住の外国人や観光目的等で滞在中の外国人のために、必要な情報を多言語(やさしい日本語、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語の5言語を基本)により提供し、外国人に寄り添い、総合的、広域的な支援を行うことを目的として設置します。

### 2 設置と閉鎖

#### (1) 設置

和歌山県は、和歌山県災害対策本部設置基準に該当する大規模災害が発生した場合、公益財団法人和歌山県国際交流協会(以下、「交流協会」という。)と災害時多言語支援センター運営に向けた協議を開始し、発災後12時間以内に災害時多言語支援センターを設置します。

(参考) 和歌山県災害対策本部設置基準

- ① 和歌山県に大津波警報が発表されたとき。
- ② 地震が発生し、県内で震度6弱以上を記録したとき。
- ③ 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)又は南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表されたとき。
- ④ 知事が必要と認めたとき。  
※風水害等の例
  - ・災害救助法の適用を必要とする災害が発生したとき。
  - ・大規模事故等が発生したとき。
  - ・その他の災害が発生したとき。

#### (2) 設置場所

和歌山県和歌山市手平2丁目1番2号

県民交流プラザ和歌山ビッグ愛8階 和歌山県国際交流センター内

※ただし、和歌山ビッグ愛の被害が大きく和歌山県国際交流センター内への設置が不可能な場合は、和歌山県と交流協会が協議の上、代替場所を確保します。

災害時多言語支援センター設置時の連絡先

電話：073-435-5240

E-mail：wixas@outlook.jp

※和歌山県国際交流センター内の他に設置する際は、別途周知します。

(3) 開設時間

開設時間は、外国人の避難状況、支援要請等の状況を勘案し、設定します。

(4) 閉鎖

災害時多言語支援センターの閉鎖については、外国人の被災状況、支援の必要性、和歌山県災害対策本部の状況を勘案し、和歌山県と交流協会が協議の上、和歌山県が決定します。

### 3 活動内容

(1) 災害関連情報の収集、整理、多言語による情報発信

和歌山県災害対策本部や各種メディア等から外国人が必要とする情報を収集し、やさしい日本語、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語の5言語を基本に翻訳し、交流協会SNS、和歌山県国際交流センターホームページ、和歌山県ホームページ、和歌山県外国人サポートメール等で発信します。

(2) 在住外国人からの多言語による相談対応、ニーズ把握

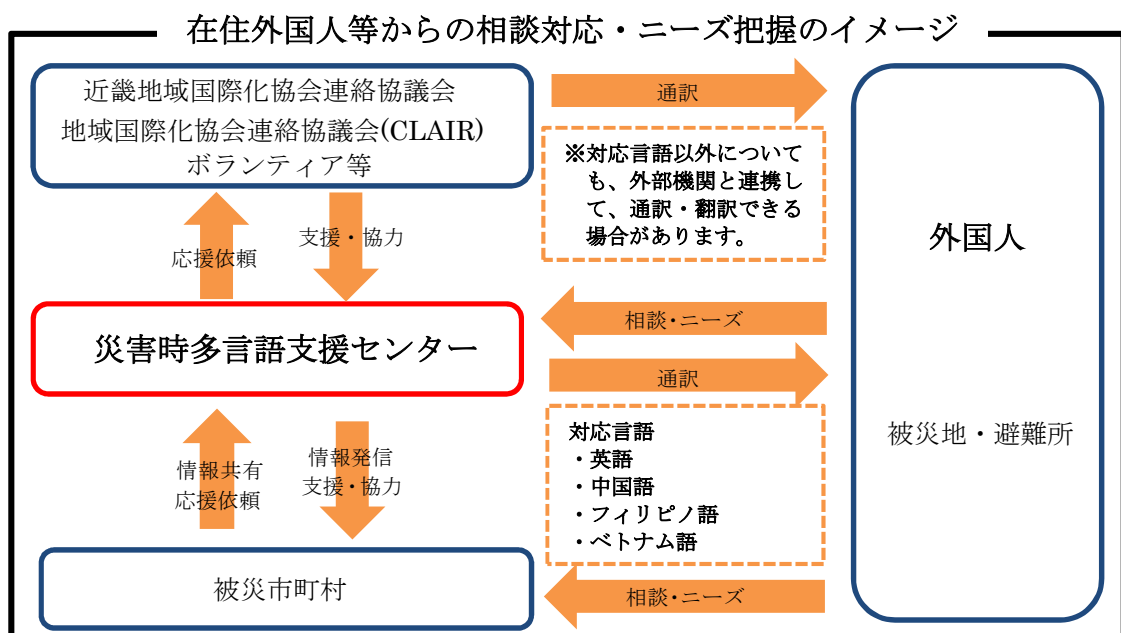
(ア) 相談は、やさしい日本語、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語の5言語を基本に来訪・電話・Web 会議システム(Zoom)・文書・電子メール等により対応します。

(イ) 災害時多言語支援センターで対応できない言語については、外部協力機関(近畿地域国際化協会連絡協議会等)に連絡し通訳を依頼します。

(ウ) 被災市町村から多言語支援センターに通訳等の応援依頼があれば、市町村と連携の上、Web 会議システム(Zoom)や電話等により遠隔支援を行います。

(3) 行政資料の翻訳支援等

各市町村から、緊急性のある行政資料の翻訳支援や避難所巡回時の通訳支援等の依頼があった場合は、多言語支援センターの業務状況を勘案の上、対応します。



### 3. 市町村において平時から取り組んでいただきたいこと

#### 1 地域に在住する外国人に関する情報の把握

平時より、住民基本台帳を有効に活用する等、地域に在住する外国人の人数、国籍、使用言語等の把握に努めることが大切です。

令和4年6月14日に開催された「外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議」において、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(令和4年度改定)」が決定され、その施策番号171 においては、法務省の施策として「地方公共団体において外国人との共生施策を更に推進するため、住民基本台帳情報の適切な活用を促進するための周知を図る。」こととされています。

#### 2 避難所における外国人被災者の受け入れ態勢の整備

避難所の仕組みや機能を知らず、日本語を母語としない外国人被災者にとっては、避難所生活で多くの不安を抱えることが想定されます。

各市町村においては、「災害時多言語表示シート」や「災害時用ピクトグラム」(P11 5. 1参照)等を印刷し避難所に備えておくこと、難しい言葉を言い換えて外国人にも分かりやすくした「やさしい日本語」(P11 5. 2及び P12 5. 3参照)を活用すること等により、避難所における外国人被災者の受け入れ態勢の整備を進めることが必要です。一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)による「地域国際化推進アドバイザー派遣制度(<https://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/advisor.html>)」を活用すれば、「やさしい日本語」や災害時外国人支援研修に係る講師の派遣を無料で依頼することもできます。

また、外国人の方と意思疎通を図る時に役に立つ多言語音声翻訳アプリ「ボイストラ」(P12 5. 4参照)等、災害時に役に立つ多様なアプリやツールの使用を平時から心掛けてください。

#### 【地域国際化推進アドバイザー派遣制度の派遣事例】

- ・テーマ：災害時の外国人支援（令和3年7月）
- ・派遣アドバイザー：高橋 伸行 氏（（特活）多文化共生マネージャー全国協議会）
- ・派遣先：上尾市（現地開催）



##### ① 目的

災害時の外国人支援を行うために昨年度開始した通訳翻訳ボランティア制度について、登録ボランティアには災害時に日本語でのコミュニケーションが困難な外国人を支援することが期待される。また、指示を出す市役所職員もボランティアの活動や現場での行動を理解しておく必要があるため、両者の能力開発のための研修会を行う。

##### ② 内容

「災害時の外国人支援、多言語情報センターの運営について」の講義

##### ③ 成果

多文化共生について幅広い内容の講習で、とても役立つ内容であった。座学のみでなく実際自分でやさしい日本語を作成し、実務も学べた。知識と経験を豊富にお持ちの講師に来ていただけて大変ありがたかった。

### 3 市町村からの発信が想定される情報の事前翻訳

災害時に市町村から発信することが想定される情報は、多言語で迅速に発信できるよう、できる限り事前に翻訳作業を行ってください。

その際、一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)が作成した「多言語災害情報文例集」(P11 5. 1参照)を活用できます。

### 4 外国人に対する災害時多言語支援センターの周知と防災啓発

市町村の防災訓練、地域の自治会・自主防災組織、外国人労働者等を雇用する企業や外国人技能実習生の監理団体、外国人コミュニティ等を通じて、地域に在住する外国人に対して災害時多言語支援センターの周知や防災啓発をお願い致します。

啓発の際は、和歌山県国際交流センターが作成している外国人向け「防災ガイド」(P12 5. 5参照)等を活用できます。また、災害時の速やかな避難等に役立つアプリとして「Safety tips」(P12 5. 6参照)、県からの情報を多言語でメール配信するサービスとして「和歌山県外国人サポートメール」(P13 5. 7参照)等の周知をお願い致します。

### 5 災害時多言語支援センター設置運営訓練への参加

和歌山県国際交流センターは、例年、災害時多言語支援センター設置運営訓練を実施し、有識者による災害時の外国人支援に関する講義のほか、避難所における外国人対応の実践訓練を行っています。災害時における外国人対応力の向上のために役立つ訓練を実施していますので、各市町村における防災担当者・国際交流担当者をはじめ、関係職員の参加をお願い致します。

## 4. 避難所に外国人被災者が来た時の接し方

### 1 避難所での外国人被災者対応のモデル

(参考:公益財団法人兵庫県国際交流協会「災害時外国人対応の手引き 避難所における災害時外国人対応と事前に準備しておきたいこと」)

#### 外国人支援：避難所開設前

- ・受付に「多言語避難者登録カード(外国人の国籍にあった言語別のもの)」(P9 5. 1参照)、鉛筆等の筆記具を設置。
- ・「多言語避難者登録カード」を記入するために使用する長机(なければ決裁板を5枚程度)と、「多言語避難者登録カード」を綴じるファイルを準備。
- ・「災害時多言語表示シート・災害時用ピクトグラム」(P11 5. 1参照)の貼り出し。  
(例:避難所、本部、受付、トイレ、救護所、支援物資配給、火気厳禁、貴重品は自分で管理してください、室内では静かにしましょう、消灯時間、燃えないごみ、燃えるごみ)
- ・「多言語指さしボード」(P8 5. 1参照)等を準備。
- ・多言語音声翻訳アプリ「ボイストラ」(P12 5. 4参照)等を入れたスマートフォンまたは通訳機(「ポケットク」等)を準備。
- ・感染症対策に関する表示の多言語化、ノンアルコール消毒液(宗教に配慮した衛生資材)等を用意。

(1)日本語が分かるかどうかの確認

- ・「多言語指さしボード」(P8 5. 1参照)を外国人に見せ、言語を確認するとともに、日本語が分かるかを確認。
- ・日本語が分からない場合に、どの言語が分かるかを確認。
- ・外国人が分かる言語が「多言語指さしボード」の言語リストにない場合には、多言語音声翻訳アプリ「ボイストラ」(P12 5. 4参照)等または通訳機を利用。

(2)「多言語避難者登録カード」(P9 5. 1参照)の配布・記入・確認

- ・外国人が分かる言語の「多言語避難者登録カード」を渡し、記入してもらう。
- ・原則1人1枚記入を依頼。家族で避難し、代表者が家族の状況等の項目を記入した場合、代表者以外は当該項目を省略し、その他の必要事項のみ記入いただく。
- ・当該外国人がいる場で、記入内容をチェック。必要があれば、多言語音声翻訳アプリ「ボイストラ」等または通訳機を使い、外国人に質問し、加筆修正等を行う。

(3) 避難スペース、掲示スペース、トイレの案内(多言語音声翻訳アプリまたは通訳機を使用)

- ・避難スペースに案内。
- ・掲示スペースに案内。併せて、避難生活上の注意点を説明。
- ・トイレの場所について案内。

(4) 外国人被災者巡回

- ・「多言語指さしボード(避難所スタッフ用)」を使って、外国人の意思を確認。
- ・「多言語指さしボード(避難所スタッフ用)」の「③何か困っていることはありますか?」、「④欲しいものはありますか?」に対する答えは、「多言語指さしボード(外国人被災者用)」を使って、外国人に指さしてもらう(外国人が分かる言語が、「多言語指さしボード」にない場合、多言語音声翻訳アプリまたは通訳機を使用)。
- ・「巡回レポート」(P10 5. 1参照)等を使って、外国人被災者から情報収集し、相談内容等をまとめる。

※多言語音声翻訳アプリや通訳機を使用する場合、通訳の精度を高めるために、やさしい日本語で話しかけ、理解できているかを確認する。

※外国語ができる日本人や日本語ができる外国人に対して、避難所運営に協力を呼び掛けることを検討。

※避難所運営スタッフだけで対応が難しいと判断した時は、災害時多言語支援センターへ通訳等を応援依頼する。

## 2 避難所に外国人被災者が来た時の接し方

(参考:公益財団法人兵庫県国際交流協会「災害時外国人対応の手引き 避難所における災害時外国人対応と事前に準備しておきたいこと」)

まずは積極的に日本語で声をかけましょう。

(避難所は日本人向けの施設と思い込み、躊躇する外国人もいますので、外国人も日本人と同様に利用可能であることを示し、安心してもらうためにも、声かけを行ってください。)

↓  
P 7へ続く

↓  
P 7へ続く



P6から

外国人被災者が日本語が得意ではない場合

- ・やさしい日本語で書く、ゆっくり話す。  
(やさしい日本語は短い文にすることがポイントです。)
- ・外国語ができる日本人、日本語ができる外国人に協力を求める。
- ・多言語音声翻訳アプリまたは通訳機を使う  
(シンプルな日本語を使うと翻訳精度が上がります)。
- ・日本人独特の表現は外国人に伝わりにくいので、具体的にはっきりと伝える。
- ・避難所運営スタッフだけで対応が難しいと判断した時は、災害時多言語支援センターへ通訳等を応援依頼する。

P6から

外国人被災者が日本語ができる場合

- ・避難所運営に協力可能か確認する。
- ・可能な場合、通訳や伝達等を担当してもらい、外国人グループのリーダーになってもらう。※
- ・外国人は「要配慮者」とされているが、在住外国人は地域の担い手として活躍しうる存在と日本人側も認識しておくことが重要。

宗教やアレルギー等による配慮が必要か確認しましょう。

- ・食べられないものがあるか？
- ・感染症対策用のアルコール消毒液を使用できるか？
- ・お祈りするスペースの設置を希望するか？(宗教的由来の例：イスラム教徒は、豚由来やアルコールを含む原材料の飲食及び商品を使用できません。)

※参考 (外国人の避難所生活と外国人リーダーの役割)

- ・外国人は一般的に、災害に関する知識や経験が少なく、日本人よりも不安になりやすい傾向があり、母語で話すと安心するため、同国出身者同士で集まって、大きな声で話すこともあります。また、不安の解消の仕方も国や文化によって異なります。
- ・避難所では、避難した人が中心となって運営する必要があること等、避難所がどのような場所かどのような仕組みとなっているか知識がないことも一因です。
- ・そのため、外国人リーダーを通じて避難所のルールを伝えることで、理解を得ることが期待できます。

## 5. 災害時における外国人支援に使用できるツール

1 一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR) による災害時多言語情報ツール  
<https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/saigai.html>

・多言語指さしボード (<https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/yubisashi.html>)  
 避難所で日本語が苦手な外国人と最低限の意思疎通を図るためのツールです。



【多言語指さしボードの例】

### 1. 言語の確認

全言語共通

にほんご

日本語はわかりますか？

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| ① Do you understand Japanese?            | ⑧ Comprenez-vous le japonais ?        |
| ② 您懂日语吗?                                 | ⑨ Вы понимаете по-японски?            |
| ③ 會日語嗎?                                  | ⑩ Bạn có hiểu tiếng Nhật không?       |
| ④ 일본어를 할 줄 알니까?                          | ⑪ เข้าใจภาษาญี่ปุ่นหรือไม่            |
| ⑤ Nakakaintindi ba kayo ng wikang Hapon? | ⑫ ဂျပန်ဘာသာစကား နားလည်ပါသလား။         |
| ⑥ Você entende japonês?                  | ⑬ Apakah Anda memahami bahasa Jepang? |
| ⑦ ¿Entiende japonés?                     | ⑭ जापानी भाषा बुझ्नुहुन्छ?            |

はい / YES

いいえ / NO



なにご

何語がわかりますか？

- |  |  |
|--|--|
| ① Which language(s) do you speak?      | ⑧ Quelle(s) langue(s) comprenez-vous ? |
| ② 您懂什么语言?                              | ⑨ Какой язык вы понимаете?             |
| ③ 會什麼語言?                               | ⑩ Bạn biết ngôn ngữ gì?                |
| ④ 어떤 언어를 할 줄 알니까?                      | ⑪ เข้าใจภาษาอะไร?                      |
| ⑤ Anong wika ang inyong naiintindihan? | ⑫ ဘယ်ဘာသာစကား နားလည်ပါလဲ။              |
| ⑥ Quais idiomas você entende?          | ⑬ Anda memahami bahasa apa saja?       |
| ⑦ ¿Qué idioma entiende?                | ⑭ कुन भाषा बुझ्नुहुन्छ?                |

英語  
English

ポルトガル語  
Português

タイ語  
ภาษาไทย

中国語 (簡体字)  
中文 (簡体字)

スペイン語  
Español

ミャンマー語  
မြန်မာဘာသာ

中国語 (繁体字)  
中文 (繁體字)

フランス語  
Français

インドネシア語  
Bahasa Indonesia

韓国・朝鮮語  
한국・조선어

ロシア語  
Русский язык

ネパール語  
नेपाली भाषा

タガログ語  
Tagalog

ベトナム語  
Tiếng Việt

その他  
Others

・多言語避難者登録カード (<https://dis.clair.or.jp/open-data/dis-evacuee-card/index/1>)

避難所で受け入れた外国人等に、名前等の基礎的な情報や配慮が必要な事項等を記入していただき、把握するために使用できる登録カードです。14言語で提供されています。



【多言語避難者登録カードの例】

Evacuee Registration Card [ Name of the person filling in this form ] 英語

**1 Evacuee Register**  
避難者の登録

Name 氏名	Sex 性別	Date of birth 生年月日	Telephone number 電話番号	E-mail address メールアドレス	Evacuation Location 避難場所
1 Household representative 世帯代表者					<input type="checkbox"/> Shelter 避難所 <input type="checkbox"/> Home 自宅 <input type="checkbox"/> Unknown 不明 <input type="checkbox"/> Other その他 [ ]
2					<input type="checkbox"/> Shelter 避難所 <input type="checkbox"/> Home 自宅 <input type="checkbox"/> Unknown 不明 <input type="checkbox"/> Other その他 [ ]
3					<input type="checkbox"/> Shelter 避難所 <input type="checkbox"/> Home 自宅 <input type="checkbox"/> Unknown 不明 <input type="checkbox"/> Other その他 [ ]
4					<input type="checkbox"/> Shelter 避難所 <input type="checkbox"/> Home 自宅 <input type="checkbox"/> Unknown 不明 <input type="checkbox"/> Other その他 [ ]
5					<input type="checkbox"/> Shelter 避難所 <input type="checkbox"/> Home 自宅 <input type="checkbox"/> Unknown 不明 <input type="checkbox"/> Other その他 [ ]

Address  
住所 〒

**Foreign Nationals** 外国人の方

Nationality 国籍	Passport Number or Resident Card Number パスポート番号または在留カード番号	Do you understand Japanese? 日本語がわかりますか?
1		<input type="checkbox"/> Yes はい <input type="checkbox"/> No いいえ           [ Languages you can speak 話せる言語 ]
2		<input type="checkbox"/> Yes はい <input type="checkbox"/> No いいえ           [ Languages you can speak 話せる言語 ]
3		<input type="checkbox"/> Yes はい <input type="checkbox"/> No いいえ           [ Languages you can speak 話せる言語 ]
4		<input type="checkbox"/> Yes はい <input type="checkbox"/> No いいえ           [ Languages you can speak 話せる言語 ]
5		<input type="checkbox"/> Yes はい <input type="checkbox"/> No いいえ           [ Languages you can speak 話せる言語 ]

**Travelers** 同行者の場合

Place of Stay  
滞在先

Home Address  
自宅住所

**2 Reason for evacuation**  
避難する理由

Home (Building)  
自宅(建物)  Not damaged  
被害なし  Damaged  
被害あり (  Completely destroyed  
全壊  Somewhat destroyed  
半壊 )  I don't know  
わからない

Utilities  
ライフライン  Not damaged  
被害なし  Damaged  
被害あり (  Water  
水道  Electricity  
電気  Gas  
ガス )  I don't know  
わからない

Other  
その他 [ ]

**3 Use of personal information**  
個人情報の使用

Information given by you such as your name, spoken languages, health conditions and dietary restrictions will be used for support and confirmation of your safety at the evacuation shelter. Please check in the box below if you agree to the use of your personal information.  
氏名や言語、健康状態や食事制限などの個人情報は、避難所での支援と安全確認に使用します。個人情報の使用に同意いただける方は、下記のボックスにチェックをしてください。

Support in the evacuation shelter  
避難所での支援  Agree  
同意する  Disagree  
同意しない

Contact local governments in Japan  
在住する自治体への連絡  Agree  
同意する  Disagree  
同意しない

Reply to safety confirmation inquiries from official bodies (embassies and consulates) of your country of origin  
出身国の公的機関(大使館・領事館)からの安全確認への回答  Agree  
同意する  Disagree  
同意しない

・巡回レポート(<https://clair.or.jp/j/multiculture/docs/33f9e4b38a42c5ebb7543d08b41b2b23.pdf>)  
 避難所で受け入れた外国人被災者から情報収集し、相談内容等をまとめるのに使用できる様式  
 の一例です。一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)が作成した「災害時の多言語支援のため  
 の手引き 2018」に掲載されている様式です。



【巡回レポートの例】

災害多言語支援センター	巡回レポート	避難所名	多文化小学校体育館
日付	7月20日	レポート作成者	浅田
時間	19:00 ~ 19:30	巡回者	名木、山裏、布登、大嶋、喜多御門
外国人避難者の概要		避難所の見取り図と外国人避難者位置図	
国籍	ブラジル 9人	男 5人	女 4人
言語	ポルトガル語		
国籍	ペルー 5人	4	1
言語	スペイン語		
国籍	中国 15人	5	10
言語	中国語(北京)		
国籍	ベトナム 3人	3	
言語	不明		
巡回時ヒアリングメモ		申し送り事項	
ブラジル人 3家族			
(①夫婦2人、②夫婦+子ども3人(男2、女2))		②の母親の在留資格の期限が来月まで	
③母+子ども1(男)		③は、夫のDVが原因で別居中とのこと	
①の父親が日本語 OK			
ペルー人 1家族(夫婦+子ども3、14歳、7歳、1歳)		自宅の片付けの希望あり	
親は日本語不可、長男のみOK		→避難所の災ボラ受付には伝達済み	
中国人は全員が技能実習生(全員〇×興業勤務)		会社の営業再開のめどが立たないため、帰国しろ	
日本語は1人(劉さん(男性))のみOK		と言われているらしい。→要検討	
ベトナム人らしいが、確認できず		不安な表情をしており、早急に通訳派遣のこと	
		特にケガをしているような様子はない	
その他留意事項			
・ベトナム語の通訳は、〇〇協会を通じて打診済み、明日の午前中には回答ありとのこと			
・中国人の技能実習生について、不当解雇になるのではないかとされる。			
明日、労基署に確認してみる必要あり			

・FOODPICT(<https://dis.clair.or.jp/open-data/dis-evacuee-card/index/1>)

アレルギーや宗教上の理由等によって食べられない食材を把握する必要がある際に活用できる、食材を示した絵文字です。



- ・災害時多言語表示シート(<https://dis.clair.or.jp/open-data/dis-sheet/list/1>)  
災害時に使用する様々な用語を多言語に翻訳したシートが公開されています。



【災害時多言語表示シートの例】

避難所	災害時多言語支援センター
Evacuation center	Multilingual disaster support center
避难所	多语种救灾援助中心
Lugar na pagsisilungan	Sentro ng suporta sa iba't ibang wika sa oras ng sakuna
Nơi lánh nạn	Trung tâm hỗ trợ đa ngôn ngữ khi có thiên tai

- ・災害時用ピクトグラム(<https://dis.clair.or.jp/open-data/dis-pictogram/list/1>)  
災害時に使用する様々な用語を絵で示したピクトグラムが公開されています。



【災害時用ピクトグラムの例】

避難所 にげる ところ Evacuation center	医師がいます いしや が います Doctor is available.	通訳がいます つうやくが います Interpreter is available.	Wi-Fi 使えます Wi-Fi を つかうことが できます Wi-Fi available

- ・多言語災害情報文例集(<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/mesbasic.html>)  
災害時における情報提供や避難所での掲示に使える多言語による文例集です。



## 2 在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン

([https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/plainjapanese\\_guideline.html](https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/plainjapanese_guideline.html))

出入国在留管理庁と文化庁が、在留外国人支援のために作成したやさしい日本語ガイドラインです。在留外国人向けの情報発信をする際、参考になります。



～外国人に対する「やさしい日本語」の活用について～

「やさしい日本語」は難しい言葉を言い換える等、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。地域で暮らす外国人が増えるなか、多言語での情報発信が必要になりますが、全ての言語に対応するのは困難です。そこで、平時から多言語での情報提供に加え、「やさしい日本語」の活用が期待されています。

災害時には、「避難」「給水」「炊き出し」といった普段は聞くことが少ない言葉が多く使われ、日本語を話す外国人であっても難しく感じることもあります。「やさしい日本語」を積極的に活用し、外国人に配慮した話し方をするすることで、外国人に伝わり易くなり、不安を和らげることができると考えられます。



### 3 リーディング・チュウ太(<https://chuta.cegloc.tsukuba.ac.jp/>)



入力した文に使われている単語が、日本語能力試験の基準で、どのくらいのレベルかを知ることができます。やさしい日本語による情報発信を行う際に、難しすぎる単語を使用していないかのチェックに活用できます。ただし、やさしい日本語の作成に活用する場合、入力した文の長さについてはレベルを判定できないため、ご注意ください。

※その他、やさしい日本語への言い換えに役立つサイト

- ・やさいちチェッカー シンプル検査版(<http://www4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichil/siyac/>)
- ・伝えるウェブ | やさしい日本語で情報発信(<https://tsutaeru.cloud/translation/try.html>)

### 4 多言語音声翻訳アプリ「ボイストラ」(<https://voicetra.nict.go.jp/index.html>)

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が開発した多言語音声翻訳アプリです。無料のアプリで、31言語の外国語翻訳に対応しています。



### 5 外国人向け「防災ガイド」([https://wak-kokusai.jp/project\\_ja/disaster\\_ja/](https://wak-kokusai.jp/project_ja/disaster_ja/))

和歌山県国際交流センターにおいて、多言語(やさしい日本語、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語)の防災パンフレットを作成し、配布しています。



### 6 Safety tips(<https://www.rcsc.co.jp/safety>)

「Safety tips(セーフティチップス)」は、日本で起きた地震の情報や津波の情報、気象情報等を通知する、観光庁監修の無料スマートフォンアプリです。

日本語、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語等の14か国語で提供されており、外国人にとって災害時のいち早い避難等に役立つアプリとなっています。



Safety tips



